

News Release

触れない操作により、安全で効率的な医療機器・備品管理業務を支援

メッツ様の ME 機器管理システムに導入された 日立チャネルソリューションズ様のタッチレスソリューションに 日本カーバイド工業の空中ディスプレイ技術が採用されています

日本カーバイド工業株式会社（本社・東京都港区、代表取締役社長・杉山孝久）の「空中ディスプレイ」技術が、医療関連機器の開発・製造・販売などを行う株式会社メッツ様（本社・東京都足立区、代表取締役社長・福田充宏）の ME 機器管理システム「Me-Arc-UCD-」に活用されています。同システムには、日立チャネルソリューションズ株式会社様（本社・東京都品川区）代表取締役社長・八木鉄也）の「空中入力装置」を活用したタッチレスソリューションが導入されており、この装置に当社の空中ディスプレイ用リフレクターが採用されています。

株式会社メッツ様の ME 機器管理システムに、日立チャネルソリューションズ様のタッチレスソリューションが導入されたことで、従来はタッチパネルなど端末の操作により行っていた医療機器や備品の貸出・返却の登録作業を、端末に触れることなく実施可能になりました。非接触操作のためアルコール除菌やゴム手袋の着脱が不要となり、接触による感染リスクの低減、作業効率向上に貢献します。さらに、医療機器管理をするため操作ミスが許されず正確な操作が求められる ME 機器管理システムにおいて、シンプルな画面構成と「めくる」「押す」といった簡単な操作性で正確な操作を支援します。

タッチレスソリューションの導入にあたっては、日立チャネルソリューションズ様の「空中入力装置」は 200 台を超える稼働実績とその高い信頼性に加え、ATM などでのユーザーインターフェース技術で培ったわかりやすい操作性、既存システムに容易に接続しタッチレス機能を追加できるなどの導入しやすさが評価され、採用に至ったとのことです。



触れない操作により、安全で効率的な医療機器・備品管理業務を支援する
ME 機器管理システム「Me-Arc-UCD-」

日本カーバイド工業株式会社は、道路標識や海外のカーナンバープレートに使用される再帰反射シートを長年提供してきたことから、反射材（リフレクター）を用いて、再帰反射方式で空中に映像を再表示させる空中ディスプレイ技術を開発しました。新型コロナウイルス感染拡大を受け、空中映像を非接触操作パネルとして採用する動きは各方面で高まっています。

日本カーバイド工業株式会社「空中ディスプレイ用リフレクター」
https://www.carbide.co.jp/product/airial_display/

日立チャネルソリューションズ株式会社様 ニュースリリース

メッツ社の ME 機器管理システムにタッチレスソリューションが導入され、
触れない操作により、安全で効率的な医療機器・備品管理業務を支援
<https://www.hitachi-ch.co.jp/news/2022/202209-002.html>

【会社概要】

名称 : 日本カーバイド工業株式会社 (英文名称 NIPPON CARBIDE INDUSTRIES CO.,INC.)
所在地 : 〒 108-8466 東京都港区港南 2-16-2
会社サイト : <https://www.carbide.co.jp/>
代表者 : 代表取締役社長 杉山孝久
設立 : 1935(昭和 10)年 10 月 8 日
資本金 : 7,780,303,792 円
株式 : 東証プライム上場
従業員数 : 連結 3,589 名 単体 494 名 (2022 年 3 月末現在)
グループ事業内容 : 電子・機能製品事業、フィルム・シート製品事業、建材関連事業、エンジニアリング事業

メディアの皆さまからのお問い合わせ

日本カーバイド工業株式会社 経営企画部 広報・IR グループ
担当 : 剣持
Tel 03-5462-8224 prir@carbide.co.jp

再帰性反射材シートに関するお問い合わせ

日本カーバイド工業株式会社 事業開拓・開発部
担当 : 佐名川
Tel 03-5462-8280 msanagawa@carbide.co.jp